

朝倉市相談情報共有システム導入に係る情報提供依頼書

I 前提条件

以下にシステム導入の前提となる条件を記載します。これらの条件は現時点で想定している条件であり、今後変更や追加が発生する可能性があります。

(1) 導入の時期

令和7年4月に導入作業を開始し、令和7年10月の本稼働開始を目標としています。

(2) システムを利用する業務の範囲

対象となる業務及び担当部署を以下の表に示します。

相談業務	担当部署
障がい相談	福祉事務所
生活保護相談	
生活困窮者相談	
児童相談	子ども未来課
児童経過票	
母子相談	
母子経過票	
婦人相談	健康課
精神保健相談	
健康相談(住民健診結果)	
健康相談(特定健康診査指導情報)	
母子保健相談	介護サービス課
高齢者相談	
虐待相談	教育課
DV相談	男女共同参画推進室

(3) システムの稼働環境

項目	数値	備考
職員数	529人	令和5年3月末時点 正規雇用職員のみ
行政人口規模	50,449人	令和6年2月末時点
本件に関するシステムを利用するクライアント端末数	約200台	概数

(4) 現状と課題

現在、朝倉市では各部署個別のシステムやツールにより相談内容を管理しており、他の部署が

保有している情報が必要である場合には事前調整のうえ、個別に照会依頼をすることで情報を共有している。このため、相談者が窓口に事前連絡なしに訪れた場合には、すでに聞き取った情報を再度聞き取る必要があり、この状況が相談者と職員双方の負担となっている。

一方で、相談者の属性（課税情報や福祉サービス受給情報）情報の共有に関しては、各個別の制度や法令により共有の可否や範囲が細かく制限されており、情報共有の判断に一定の知識が求められていることも、部署間のスムーズな情報共有を妨げる要因となっている。

II 指定様式による回答項目

前項の前提条件をもとに、現段階で提案が可能なシステムを提案してください。指定様式に記載のある項目については指定様式に沿って回答してください。

(1) アプリケーション名

提案するアプリケーションの製品名を回答してください。

(2) アプリケーション開発元

提案するアプリケーションの開発元を回答してください。

(3) 構築環境

提案予定のアプリケーションを構築することが可能な環境について、以下の内容を回答してください。

3-1 運用形態

3-2 クライアント環境

(4) 個別機能要件

回答様式に記載された要件ごとに、提案するシステムによる対応可否を回答してください。

4-1～11

III 任意様式による回答項目

任意の様式を使用して、以下の各項目に回答してください。ページ数の指定はありませんが、様式や資料のサイズは各項目に記載した用紙サイズで作成してください。

(5) 製品資料（指定なし）

提案する製品の概要を把握できる資料を提出してください。パンフレット等の汎用的な資料でも可とします。

(6) 想定構築スケジュール(A3)

システムの本稼働開始を令和7年10月1日運用開始と仮定した場合に想定される構築スケジュールを回答してください。作業工程を大まかに分割（「設計」、「開発」、「データ移行」など）し、各工程の実施者（発注者・受注者）や所要期間が分かるように記載してください。

(7) 導入実績(A4)

貴社の他自治体において、本RFIの内容に類似したシステムの導入実績があれば回答してください。

(8) 概算費用 (A4)

提案するシステムのイニシャルコスト及びランニングコストの概算見積を提示してください。今回の RFI で提示された金額は RFP 時の評価には一切影響を与えないものとします。

(9) 調達仕様に必要な情報 (A4)

今後、朝倉市が実施する本件に関する RFP に参加する場合、提案をスムーズに行うために特に市からの提供を希望する補足情報があれば、提案してください(自由記述)。特に無い場合には回答不要です。